

# 商学部商学科の教育理念と3つのポリシー

## 教育理念

**公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、徹底した少数教育を通じて実力と創造力をそなえた有能な社会人を育成することを目的とする。**

本学は、単なる知識の伝達ではなく、人間を基調とした全人格の形成を求め「公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、徹底した少数教育を通じて実力と創造力をそなえた有能な社会人の育成」を目的としています。時代が大きく変わろうとしている今、社会も、そして大学自体も変わっていかなくてはなりません。その様な状況のもと、教育理念という普遍的なテーマをベースに、高度に多様化していく時代に対応すべく、より具体的に進化した教育プログラムを構築し、学生の個性や可能性を大きく伸ばしていくことを教育の原点としています。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中央学院大学商学部は、大学建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」を根幹とし、「実力と創造力をそなえた有能な社会人の育成」という学部の教育理念に基づき、教養教育と商学の専門教育を通して、社会において活躍できる有為な人材の育成を目指しています。本学に定める期間在籍して、以下の1～3の力を習得し、すべての「必修科目」を含めて126単位以上修得した学生に、学士（商学）の学位を授与します。

1. 人文・自然・社会科学、語学など幅広い教養  
文化・社会・自然を幅広く理解し、異文化を深く理解するとともに、普遍的に求められる公正な倫理観を身につける。
2. 商学・経済学・経営学・会計学など専門知識  
商学の専門知識および商学に関する理論的・実証的研究成果の基礎を修得するとともに、ビジネスに携わるうえで必須の専門的な数量的スキルや情報リテラシーを身につける。
3. 幅広い教養と専門的知識に基づいた判断力で社会に貢献しようとする姿勢  
幅広い教養と専門的知識を基に、理論的思考力、課題解決力、コミュニケーションスキルを高め、社会の一員としての責任を果たし社会に貢献しようとする姿勢を身につける。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

### 教育課程編成・教育内容

中央学院大学商学部は、ディプロマ・ポリシーに基づいて以下のように教育課程の編成をおこないます。

1. 人文・自然系列科目を通じて、文化・社会・自然を幅広く理解し、異文化に対する理解を深め、倫理観を醸成できるような教育の編成をおこないます。
2. 日本語科目、外国語、体育科目を必修科目とすることにより、コミュニケーションスキルを高め、積極的に他者や異文化を理解しようとする姿勢を身につけられるような教育の編成をおこないます。
3. ゼミナール教育等を通じて、自ら課題に取り組む姿勢を身につけ、就業意欲を高めるとともに、社会に貢献できる力を修得させる取り組みをおこなうための教育の編成をおこないます。
4. 情報関連科目を必修科目とすることによりビジネスに不可欠の情報リテラシーを身につけられるようにし、商学系列共通選択科目の履修を通じて、商学の専門知識及び商学に関する理論的・実証的研究成果の基礎を修得できる教育の編成をおこないます。
5. 下記の7コースの履修を通じて、卒業後の希望進路に応じた知識、能力を修得できるようにするためコース毎に体系的で段階的な科目配置をおこなっています。
  1. 商学総合コースは、オールラウンドなビジネスパーソンとして幅広いフィールドで活用できる、商学・経済・経営・会計の分野を横断する知識を修得できる教育課程を編成します。
  2. 経営コースは、企業経営の専門家に必要な、経営者・企業管理者として必要なスキルを修得できる教育課程を編成します。
  3. 国際ビジネスコースは、グローバル・ビジネスの専門家に必要な、国際的な企業情報や商取引の知識を習得できる教育課程を編成します。
  4. 会計コースは、財務の専門家に必要な、簿記会計や法人税務の知識を修得できる教育課程を編成します。
  5. 経済コースは、企業経営、財政、経済政策など、企業の即戦力となるために必要な経済学の知識をその基礎から修得できる教育課程を編成します。
  6. 情報コースは、情報管理の専門家に必要な、ビジネス界で求められるIT技術とその活用法を修得できる教育課程を編成します。
  7. スポーツキャリアコースは、スポーツに関わる様々なフィールドで活躍できる人材に必要な、商学・スポーツ学に関する知識を修得できる教育課程を編成します。
6. 卒業後教員を希望する者に対応して、主として商学に関連する各種の教育職員免許状を取得できる授業科目を編成しています。

### 教育方法・学習成果の評価

セメスター制度のもと、1・2年次は、必修科目である基礎教育科目と外国語科目、保健体育科目を中心に構成されています。基礎教育科目は、商学部での学びをより充実させるために必要な技能や知識の修得のために設置されています。また自ら学習計画を立て、主体的な学びが実践できるようにする観点から、1年次に、初年次導入教育の役割を担う「プロゼミナール」を必修科目として設けています。「演習」科目は、2年次から4年次まで設けて専門的な分野の修学を行います。

商学に関連する資格取得目的を目指す学生は、アクティブ・センター（生涯学習センター）で資格取得講座を履修することができます。講座によっては商学部の単位が認定されますし、資格を取得することによって受講料の優待・特待制度を設けています。

セメスター制は、4月開講の前期の春セメスター、10月開講の後期の秋セメスターからなります。授業は一回90分、15回の授業の後、定期試験を実施し、学習成果を評価していますが、教科によっては、レポートの出来ばえあるいは体育関係科目のように毎回の授業内で評価する科目もあります。いずれも学習成果の評価は、厳正に行っています。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

### 1. 求める入学者像

商学部は、建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」の理念の下、学部の教育理念である「実力と創造力をそなえた有能な社会人の育成」を目指します。このような有能な社会人を育成するために、次のような入学者を求めます。

1. 高等学校までの学修により、人文、自然、社会、言語、スポーツなど幅広い分野・領域に関心があり、それらをより深く理解したいという意欲がある。
2. 商学・経済学・経営学・会計学などに関心があり、それらの専門知識を修得したいという意欲がある。
3. 幅広い教養と商学などの専門知識を身につけ、それらを基に身近な地域から世界まで広く社会に貢献したいと考えている。
4. 幅広い教養と商学などの専門知識を身につけるために必要な「学力の3要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）の基礎を有している。

### 2. 入学者選抜の基本方針

商学部では、「求める入学者像」に合致する入学者を選抜するために、次の入学者選抜を実施します。

1. 総合型選抜：書類審査、面接などを中心とする選抜。
2. 学校推薦型選抜：書類審査、面接、小論文などを中心とする選抜。
3. 一般選抜：大学独自の学力試験、大学入学共通テストなどを中心とする選抜。

※商学部商学科の3つのポリシーは現在改訂中です。受験の前には最新版をホームページで確認してください。

# 法学部法学科の教育理念と3つのポリシー

## 教育理念

人権感覚の育成と共生意識の確立とをめざし、専門教育と人間教育のバランスのとれた全人教育を施すことにより、法的素養と良識とを備えた有能な社会人を育成することを目的とする。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

法学部とは、法や政治・行政に関する専門的・体系的な研究・教育を通じて現代社会への理解を深めること、および、その学習成果を活かして社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することを目的とする学部です。

### 1. 本学部における人材育成方針

現代社会は、日々複雑化・高度化し、またグローバル化と相まって価値観の多様化も進み、従来の社会であれば通用していた慣習、常識および合意に基づく社会運営が限界を示してきています。こうした中で、社会共通のルールとしての法はより重要性を増しています。しかし、法の機能を過信し、人間を正面から見つめようとしなければそれは本末転倒であり、他者に対する共感や理解、現代社会成立の経緯や実情を踏まえて法を見つめる、バランス感覚を備えた人材こそが求められています。

本学部は、本学建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」および法学部の教育理念である「人権感覚の育成と共生意識の確立」を踏まえ、教養教育と専門教育を融合させた全人教育を実践することにより、上記のような人材の育成に努めています。

### 2. 卒業時に期待される能力

上で述べた目的および方針に照らし、本学部を卒業する際に学生に期待される能力は以下の通りです。

- (1) 法学部の専門科目（法学系科目、政治学・行政学系科目）および各コース独自の科目に関する基本的かつ体系的な知識
- (2) 幅広い教養やコミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、自己管理能力、論理的思考力、問題対応力など、生活のあらゆる場面で必要とされる能力
- (3) チームワーク、リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習への関心・理解など社会の一員としての態度・指向性
- (4) 新たな課題を発見し、それを解決する能力

よって、成績評価・卒業判定は、これらをバランスよく身につけたか否かを考慮しつつ行うこととなります。

### 3. 卒業要件

編入学などの例外的な場合を除いて、本学部にて4年間以上在籍し、所属するコースの卒業所要単位表に従って127単位以上を修得することにより卒業が認定され、学士（法学）の学位が授与されます。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学部は、本学の建学の精神と法学部の教育理念を融和させ、それらを実際の教育に反映すべく、専門科目（法学系科目、政治学・行政学系科目）、教養系科目、外国語科目、日本語科目、情報処理科目、体育系科目などからなるカリキュラムを編成しています。その中核となるのは、法学系科目と政治学・行政学系科目、そして各コースの必修科目・選択必修科目です。

### 1. 公務員養成の重視

本学部では、学部設置以来、有能な公務員（警察官・消防官・自治体職員・教員など）の養成を学部全体の方針としており、公務員養成のための専門科目やその他の関連講座を開講しています。

### 2. 多様なコース教育

その一方で、学生の多様な学習ニーズに応えるとともに、公務員に限らず多様な人材を社会に輩出できるようにするため、本学部は次のような5つのコースを用意しています。

- (1) 司法コース
- (2) 行政コース
- (3) ビジネスキャリアコース
- (4) フィールドスタディーズコース
- (5) スポーツシステムコース

各コースは、法学部の基本的コンセプトと本学部の教育理念を共有した上で、それぞれ独自に、卒業後にふさわしい進路やそのための教育方針・教育体系を持ち（詳しい内容は大学案内等でご案内しております）、法学系科目や政治学・行政学系科目と各コース独自の必修科目・選択必修科目を組み合わせた特色あるカリキュラムを展開しています。

### 3. コースへの帰属

本学部の学生は、入学時から上記5コースのうちのいずれかに所属し、そのコースのカリキュラムに沿って学びます。途中で所属コースを変更する余地はありますが、基本的には入学時に選択したコースで卒業まで学ぶことにより、社会に貢献できる人材として必要な知識・能力を身につけていきます。

### 4. 初年次教育への取り組み

本学部では、公務員養成と多様なコース教育の出発点として、初年次教育を重視しています。

公務員養成の出発点としては、1年生を主な対象とする「公務員特別演習Ⅰ」を開設し、警察官等の公務員を希望する新入生のモチベーションを入学当初から高めるとともに、将来公務員となるために必要な能力の育成に努めています。

他方、多様なコース教育の出発点として、各コースの1年次必修科目として演習科目が開設されています（司法コース「基礎演習Ⅰ」・行政コース「基礎演習Ⅰ」・ビジネスキャリアコース「ビジネス法基礎演習Ⅰ」・フィールドスタディーズコース「調査・表現法基礎演習」・スポーツシステムコース「スポーツ学演習」）。これらの演習では、各コースの教育方針を反映して、図書館の使い方やレポートの書き方、プレゼンテーションやディベートの仕方などを学ぶとともに、他大学との合同宿泊や現地視察、学外イベントの企画運営などを通じて、これから大学で学んでいく際に必要となるスキルや考え方を学ぶ機会を新入生に提供しています。また、演習の時間を利用して就職への意識付けのための自己分析を行うなど、就職支援行事との連携も図っています。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学部では、本学の建学の精神や本学部の教育理念を理解し、それらを体現しようと努めることのできる学生を求めます。

### 1. 明確な目的意識

本学部では、本学部のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、4年間の在学中に法や政治・行政に関する知識・能力、および各コースが個別に目標とする知識・能力を身につけ、社会に貢献できる人材を目指す、目的意識の高い学生を求めます。

### 2. 入学者選抜方法に対応した基礎的能力

本学部では、本学で実施しているそれぞれの入学者選抜方法に対応した基礎的能力（基本的なコミュニケーション力、論理的思考力、記述力、高校までの学習事項に関する基礎知識や応用力など）を備えた学生を求めます。

※法学部法学科の3つのポリシーは現在改訂中です。受験の前には最新版をホームページで確認してください。

# 現代教養学部現代教養学科の教育理念と3つのポリシー

## 教育理念

公正な社会観と倫理観をそなえた自立した個人の育成をめざし、現代を生き抜くための教養教育を通じて、地域や社会、政治や経済との関わりの中にある自己を深く知り社会参画や社会貢献ができる市民を育成することを目的とする。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

1. 現代社会の基底をなす多様な人間文化や異文化に対する理解を深めることによって、幅広い教養を修得し、「公正な社会観と倫理観」を身に付けている。
2. 社会における市民としての役割を認識したうえで、社会参画や社会貢献のための問題解決能力やジェネラリストとしての能力を身に付けている。
3. 現代社会をその歴史的・思想的な背景からより深く理解したうえで、激動する時代の変化に対応し、他者と協調・協働して社会を改善していく力を身に付けている。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 「公正な社会観と倫理観」を身に付けるために、「現代社会と人間文化系」、「異文化とコミュニケーション系」という2系列4科目群からなる教育課程を編成し、幅広い教養を修得できる教育を行う。
2. ゼミナール教育等において問題解決型の実践的教育を導入し、社会における市民としての役割を認識し、自ら積極的に問題へと立ち向かう姿勢を身に付けられるような取り組みを行う。
3. 専門教育を中心に身近な地域と積極的に関わる能力を高め、グローバルな視点から現代社会をとらえる能力を身に付けられるようにするとともに、他者と協調協働できるコミュニケーション能力を身に付けられるような取り組みを行う。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

現代教養学部は、「公正な社会観と倫理観」をそなえた自立した個人が自己を深く知り、社会参画や社会貢献ができる市民を養成するという教育の目標を置いている。ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）にのっとり、次のような意欲、能力をもった者を受け入れることを入学者受入れの基本方針とする。

1. 「公正な社会観と倫理観の涵養」という本学の建学の精神を理解している。
2. 一人の市民としてどのような仕事にも通じる幅広い教養を身に付けたいという意欲、生涯を貫く豊かな教養を身に付けたいという意思をもっている。
3. 現代社会における国内外の日々の出来事に関心を持ち、マスメディアの報道などを通じて時事問題等に興味をもっている。

※現代教養学部現代教養学科の3つのポリシーは現在改訂中です。受験の前には最新版をホームページで確認してください。



あびこしくじけ

〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451

□資料請求・入試に関するお問い合わせ

TEL: 04-7183-6516 [入試広報課]

CGU

検索

koho@cgu.ac.jp